

群馬県立桐生特別支援学校 学校評価一覧表(令和6年度版)

(様式)

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合			
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 学校Webページ等で、教育活動の様子を保護者や地域へ積極的に情報発信していますか。	学校Webページで、各学部や全校での活動の様子を掲載し、月に1回以上の更新を行う。	教務部	○学校Webページ「特色ある教育」活動の様子」の項目の充実を図る。 ○学校Webページをより多くの人に見てもらえるよう、閲覧できるURLやQRコードを様々な場面で周知していく。 ○配布物やチラシ等について、学校メールでのデータ配信を行うことで、保護者へ迅速な情報提供ができるようにする。					
	2 ニーズを踏まえ、より多くの保護者や教職員が主体的に参加・参画するPTA活動を推進していますか。	PTA主催の講演会や見学会等を年4回以上実施し、参加者の80%以上が内容に満足している。	渉外部	○保護者と教職員にアンケートを実施して、ニーズに合った講演会等を企画する。 ○講演会等について、保護者と教職員がともに参加しやすい日程や内容になるよう工夫する。また、当日の様子について、欠席者にも周知する。					
	3 地域の学校とお互いに経験を深め社会性を養うような、交流及び共同学習を推進していますか。	相互の学校のニーズに基づいた学校間交流や共同学習を、小・中学部ともそれぞれ4回以上実施する。	渉外部	○学部内で児童生徒の実態に基づいた交流内容や交流のねらい、時期について話し合い、共同学習という視点から計画及び実施をする。 ○相手校と密に連絡を取り、お互いのニーズに基づいた交流内容にする。					
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	4 桐生市内の園・小学校・中学校等への支援(相談事業・実態把握・支援方法)の充実をはかっていますか。	桐生市療育支援相談部会「つばさクラブ」(年8回)の運営に参加し、発達などに気がかりなことのある年長児に対し、スムーズな就学を支援する。	相談支援部	○PDCAサイクルを通し、幼児との適切ななかかわり方や支援について考える。 ○就学相談を進めるために、個別の相談を通して保護者との関係を築く。 ○発達や就学に向けた地域の情報提供を行い、就学先につなげる必要な情報を共有するためのサポートファイルの作成支援を行う。					
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	5 児童生徒の実態に合わせ、より主体的に学べる学習内容を工夫していますか。	適切な実態把握に基づいた国語・算数(数学)、自立活動における協同学習の時間を確保し、児童生徒が学び合い主体的に学習活動へ取り組むための、授業改善を行っていく。	学習指導部	○校内研修において単元における振り返りシートを活用し、生徒が協同学習を通し主体的に学び合う姿の記録を行い、全体やグループで授業改善のための研修を学期ごとに行い共有する。					
	6 iPad等のICT機器を学習活動に活用するとともに、実践事例を数多く職員等で共有し、技術の向上に努めていますか。	一人一台のiPadを、児童生徒の学習活動に活用するとともに、ICTの活用に関する校内研修を行うことで、職員の技術を向上する。	学習指導部	○各教員が作成した教材をgoogle drive等で学校全体で共有し、児童生徒の実態に合った学びに生かしていく。 ○ICTの活用に関する校内研修において、ICT機器の使い方や、アプリを活用した教材作成等について、職員の理解を深める。 ○ICT教材の事例紹介をWebページに掲載することで、ICT活用に関する理解と啓発を図る。					
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	7 健康に関する配慮や対応、指導を適切に行っていますか。	児童生徒の健康上の配慮事項について全体で共通理解できるように、情報共有会議等を年1回以上実施している。	保健部	○健康上の配慮事項が共通理解できるように、4月に情報共有会議を実施する。 ○配慮事項について変更や追加をする場合は、朝会や部会で周知するようにする。					
	8 健康に関する配慮や対応、指導を適切に行っていますか。	児童生徒の実態や発達段階に応じた保健指導や給食指導を年2回以上実施している。		○発達段階に応じて、低学年、高学年、中学部等グループ分けをして保健指導を実施する。 ○保健指導実施後は、連絡帳や保健便り等で知らせ、学校と家庭で情報を共有し、個に応じた配慮や対応を行う。 ○給食指導では、楽しくおいしく給食を食べることができるように、一口メモや図書給食の共有を月1回程度行うようにする。					
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	9 危険対応マニュアルに基づいた避難訓練を実施するとともに、児童生徒の安全対策や環境整備を適切に行っていますか。	危険対応マニュアルに基づいた避難訓練を年4回、各教室等の安全点検を月1回実施する。	管理部	○避難訓練前に全職員が危険対応マニュアルを確認する機会を設ける。 ○安全点検の結果を事務部と共有し、補修や修繕を速やかに行う。					
	10 いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、早期解決等、学校全体での組織的な対応をしていますか。	担任が個別の指導計画等をもとに、キャリア発達能力の目標に照らし合わせ、児童生徒の成長を振り返り、キャリアノートにまとめることを学期末に実施する。また、2学期3学期の個別面談のうちに、保護者にキャリア発達の成長を伝える。	学習指導部	○全職員に対して、キャリア教育の主旨や本校の進め方等を説明し、共通理解を図る。 ○学期ごとに児童生徒の成長を振り返り、キャリアノートに記入する。 ○年度末にキャリアパスポートファイルにまとめる。 ○個別面談の際にキャリア発達能力の目標一覧を保護者に提示しながら、これまでのキャリア発達の成長や次の目標を伝えることで、本校におけるキャリア教育の理解啓発を図る。					
VI 「学校いじめ防止基本方針」に基づいて組織的に取り組みを行っていますか。	10 いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、早期解決等、学校全体での組織的な対応をしていますか。	いじめや問題行動の未然防止及び、早期発見に向けて、保護者や児童生徒から、年3回いじめアンケートを実施している。	生徒指導部	○本校におけるいじめの判断と対応について全職員で確認する機会を設ける。 ○いじめとみられる事案が起きた場合には、担任は部主事、生徒指導主事に伝えるとともに「いじめ事案データベース」への入力を行い、全職員で共通理解を図る。また、対応が必要な場合にはいじめ防止委員会を開く。 ○いじめの定義等をPTA総会で保護者へ伝えていじめについての理解を図ったり、ホームページに掲載したりする。					